議会改革

白馬村議会基本条例 パブリックコメント及び意見交換会のお礼

白馬村議会は、時代の変化とともに多様化する問題に対し、更なる監視・評価の充実や、積極的な政策提言等に向け、議会改革として議会の果たすべき役割を示す「白馬村議会基本条例(案)」の策定に向け、村民の皆様にパブリックコメントを平成28年11月1日から12月2日迄募集しました。

期間中に1名(6件)のパブリックコメントと、11月26日(土)に開催しました意見交換会には6名の参加(30件)のご意見とご提案をいただきました。

年末を控え大変お忙しいところ、貴重なご意見とご提案を賜り、誠にありがとうございました。

皆様からのご意見を参考に、検討を重ねて条例をまとめさせて頂きます。

議会改革特別委員会
委員長　太田　修

視察研修

リゾートマンションと活況の道の駅を視察

視察日　　平成 28 年 10 月 19 日（水）～ 20 日（木）

【新潟県　湯沢町】

白馬村環境基本条例の諮問に関わる調査・研究の目的で、関越道や上越新幹線の開通している湯沢町の現状を視察しました。湯沢町議会議長、行政職員より、湯沢町のリゾートマンションの現状や観光地としての状況等説明を受けました。

スキー場開発と共に高層マンションの建設が行われてきたが、少子高齢化とバブル崩壊後、マンション売買の動きが鈍く、マンション管理費や町税の滞納額が増加し、徴収に苦労しているとの事です。

当村も基本条例見直しの中で、景観の維持・保全など、今後想定される課題について検討する必要があると思います。

「観光と農業」の産業は、道の駅を活かした地域経済の活性化を図っています。新「道の駅」構想では、基本理念の構築と付加価値を高める取り組みが課題と思われます。

【前橋プラザ元気21：こども図書館・子育てひろば　(群馬県　前橋市)】

こども図書館は、子ども目線のテーブルの高さや展示に工夫がされており、隣接する子育てひろばには様々な遊具があり、見守る職員は保育士の資格を有しています。

村が建設するにあたり、各地の施設を視察し、村民の憩いの場、観光客の雨天対策など、今後の図書館の構想を検討すべきと考えます。

道の駅二カ所見学

【道の駅　川場田園プラザ(群馬県川場村)】

【道の駅　ろまんちっく村(栃木県宇都宮市)】

二つの道の駅は、集客数・利用率並びに人気ランキングでは常に上位であり、両施設とも指定管理者制度により民間企業（川場は三セク）へ委託運営しています。クラフトビールをメインコンテンツにして集客率のアップに繋げています。

両施設とも農産物販売所や地元食材を提供するレストラン及び休憩所があり、ろまんちっく村では入浴や宿泊、体験型施設が併設されています。

隣接の「子育てひろば」はお子さんやお母さん方に大人気。
その順番待ちの時間を図書館で過ごすことで、
お子さんが読書好きになったと喜ぶお母さんも…。